



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために



国際ロータリー第2610地区

南砺ロータリークラブ

NO. 2547

URL <http://www.nanto-rc.jp>

E-mail office@nanto-rc.jp

例会日/火曜日 12:30点鐘 例会場/富山銀行福光支店4階 ◆事務局/富山県南砺市福光7336-4 ふくみつ光房内 ☎ 0763-53-1333 FAX 53-1334

撮影 写真同好会 谷村修基会員



冷たい雨空に向けて咲く

第2606回例会 令和4年3月29日(火)曇13℃

《短縮例会》=富山県ステージ2発令中(4/1よりステージ1に移行)

◆点 鐘12:30 北島芳信会長

◆司 会 片山道代SAA

◆会長の時間 古瀬喜八郎次期会長

3/19会長エレクトセミナーが開催されました。開会点鐘の後はジェニファーE・ジョーンズRI会長エレクトのビデオメッセージ、「イマジジンロータリー」がテーマでした。会員が夢を実現するために行動し、クラブの魅力を最大限に味わえる場としてのロータリーを思い描き、互いのつながりを深める事によって世界に変化をもたらすパートナーシップを築くよう会員に呼び掛けています。



黒川ガバナーエレクトより多様性、公平、風通しの良いロータリー。ガバナー訪問では、千羽鶴を皆さんと一緒に作り、千羽ずつ2個に分けてアフガニスタン、パキスタンへ持って行きたい。その後はRLI方式で5セッションに分かれてディスカッションをして勉強会は午後6時ごろ終わりました。★ ★



人の力とつながり

2022-23年度RI会長テーマのロゴ

「イマジジンロータリー」。これが、ジェニファーE・ジョーンズRI会長エレクトが、2022年1月20日に発表した2022-23年度会長テーマです。ジョーンズ氏は、大きな夢を抱き、行動を起こすことをロータリーの会員に求めています。「私たちにはみんな、夢があります。しかし、その実現のために行動するかどうかを決めるのは私たちです。想像してください、私たちがベストを尽くせる世界を。私たちは毎朝目覚めるとき、その世界に変化をもたらせると知っています」

…若々しい発想を持った86歳の人に出会ったことは?勿論あることでしょう。若い思想家とは、そうした人達を指しています。「世界を変える行動人」として活動することは、私たちの生きる喜びです。ロータリアンは活動的です。行動を起こします。私たちは、世界中と地域社会の中で行動を起こしています。ロータリーには、私が相互メンターシップと呼んでいる仕組みを活用する素晴らしい機会があります。経験のレンズを通して名案が得られることもあれば、経験が浅い人から名案が出されることだってあります。ロータリーに若い会員が参加すれば、新鮮な視点が得られて、常に進化し続けられるという希望が生まれます。(「友」3月号19頁より抜粋転載)

◆表彰伝達

北島芳信会長

・ロータリー財団、ポールハリスフェロー表彰贈呈。
記念品…森悦夫君、大西正芳君、山田喜代美君、榊祐人君。

バッジ…井沢正生君、片山浩一君、木勢博文君、西村孝君、船藤幸生君、渡邊秀一君、片山道代君、中田裕二君、湯浅勇貴君、木村伊徳君、税光信作君、森悦夫君、大西正芳君、山田喜代美君、榊祐人君。



◆幹事報告

吉田 実幹事

①小矢部、高岡万葉、氷見中央、氷見、砺波RCより例会変更、取消しのご案内。

★ニコニコボックス

3/29 森 悦夫委員長

木勢君 久しぶりの出席です。新型コロナウイルスに注意しましょう。

尾山君 第94回選抜高校野球大会開催!! 春の訪れですね。

榊君 先日の強風で、車庫のシャッターがはずれるは、ハウスのガラスが割れるは、大変な被害でした。今日は卓話担当します。よろしくお願いします。

岡部君 先日の暴風はゴルフ場の樹木10数本をなぎ倒し、一部の瓦やトタンを吹きと飛ばされましたが、例年にない大くの残雪が一度に溶け4月1日ゴルフ場オープンを迎えます。皆さまの御来場を心よりお待ちしております。

安居君 花粉のせいで、よく眠れません。

山田孝君 榊さん、卓話お願いします。

松本君 榊会員の卓話、楽しみです。

吉田君 榊さん、本日卓話よろしくお願いします。

荒井君 榊様、卓話楽しみにしております。

中田君 榊さん、卓話楽しみです。

木村君 榊さんの卓話を楽しみです。天気は良くなってきたが、まだ風が冷たいですね。外仕事はツライ時があります。

森 悦君 先日の大風の中、ボヤ騒ぎがあり、心配しましたが、大した事がなく安心しました。しかし、裏の桐木が倒壊したり、大事なボタンや花が折れ、跡片付けが大変でした。

古瀬君 先日、会長エレクト研修セミナーが有り、時間の過ぎるのが早くなりました。

谷村修君 先日の大風、桜の花が咲く前だったのが救いだと思いました。

森 雄君 早退します。

本日のプログラム 4月5日(火) 第2607回例会

卓 話

担 当 船藤幸生会員

※本日(5日)予定の観桜会は次週12日(火)に変更。

◆出席報告

谷村修基委員長

会員数	3月29日出席率	3月8日(未修正)
44 (免除2)	63.64% (欠16)	59.09% (欠18・メーク?)

次回の予定 4月12日(火) 第2608回例会

《例会変更》観 桜 会 桜ヶ池クアガーデン 送迎バス 17:30 福野
→17:40 福光駅東口→17:50 城端駅前→18:00 会場(記念撮影、桜鑑賞)
18:30 乾杯(食事)20:30 閉会、20:45 バス出発。 担当 親睦活動委員会

四つのテスト

言行はこれに照らしてから

1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか



こんにちは。

本日の卓話を担当する榊です。宜しくお願いします。

新型コロナウイルスが、国内で確認されて2年が過ぎました。

非常事態宣言や蔓延防止等重点措置が発出されたり、解除されたりと国民の生活に様々な影響が表れております。特に、飲食や宿泊関係の業種の方々のご苦労は察するに余りあります。

ロータリーの運営にも大きく影響しておりますし、農業の関係者にとっても外食産業の低迷によりコメの消費が減少し米価が下落しているだけでなく、日本酒の需要が落ち込み酒造好適米（酒米）の作付面積が大幅に縮小されております。

この様に様々な業種に悪影響が表れているなか、ロシアがウクライナ侵攻を続けていることで思わぬ影響が出ております。

その一つに、石油の供給不安であります。世界の原油産出量は、アメリカがトップで約18% 2位がサウジアラビアとロシアがほぼ同量の約12%で、昨年末からの石油製品の値上がりに拍車をかけております。

日本の原油輸入先としてのロシアのシェアは、5%程度ですから影響はわずかと言えますが、エネルギーの殆どを輸入に頼っている日本として、先行きが気に掛かります。

二つ目には、ウクライナ地方で生産される小麦の輸入に大きく影響し、パンやうどんの原料である小麦粉が値上がりしているとのことです。

密かに、小麦粉の代用品として米粉が注目されていると言うのは、農家にとって大変皮肉なことでもあります。1日も早い停戦を望むものであります。

話を新型コロナウイルスの話題に戻します。

現在、デルタ株を上回る猛威を振るったオミクロン株による第6波が収束に向いつつあり、ようやく蔓延防止等重点措置が21日に解除されました。しかしながら、ステルスオミクロンと言われるBA.2型が国内でも確認され、年度末に向け人流が活発になる時節であることから、第7波の流行が懸念されております。

今まで、アルファ、ベータ、ガンマ、デルタ、オミクロンと変異株が確認されてきました。

現在のオミクロン株は、感染力は強いが重症化しにくい様であります。もう一つの特徴として10代以下の罹患者が多いことが挙げられると思います。

重症化しにくいとか、10代以下の罹患者が多いと言うことは、ワクチン接種がある程度行き渡ったことが影響しているのかもしれませんが。この事は、罹患しているにも拘わらず無症状であるために、知らず知らずのうちに人に移し、クラスターの発生源になっているのではないかと考えてまいります。

実を言いますと2月に母親が発症しまして、当方も濃厚接触者となり1週間自宅待機しておりました。幸いにもPCR検査で陰性となり、ホッとしたところでありますが、我が家では当方が陰性と診断されたのは、奇跡だと言われております。



改めて、経験談を踏まえお話ししたいと思います。

まず、コロナの検査方法をおさらいしたいと思います。PCR検査、抗原検査、抗体検査の3種類あることは皆さんご存じだと思います。

- ・PCR検査 唾液などにウイルスが有るかを検査するもので、時間が掛かる
- ・抗原検査 検体の中にウイルスの持つたんぱく質を検出するもので、短時間で判明
- ・抗体検査 過去にウイルスに感染したかを調べるもので、精度が低い

抗体検査は、ワクチン接種により陽性反応が出る場合があります。抗原検査は、短時間で判明しますが精度はPCR検査には敵わないようであります。

母の陽性判明までの経過をお話しします。

2月9～16日までの予定で老人福祉施設のショートステイを利用していたところ、14日の昼頃、嘔吐し熱があると連絡があり、南砺中央病院で受診しましたが、発熱の原因が判らないとの事で、解熱剤を処方され自宅に連れてきました。実は、この時すでにコロナに罹っていた様であります、そんな事は露ほども疑っておりませんでした。

15日の夜に、39度の熱が出て病院に電話しましたが、解熱剤を飲んで様子を見て下さいとのことでした。翌16日に受診しようと病院に電話すると、コロナの検査することになり1時間ほどで陽性の判定でした。しかし、ベッドの空きがないことから、入院したのは17日の午後でした。老人福祉施設で陽性者が出たことからコロナを疑うことになりましたが、レントゲンでも肺炎の兆候が無かったことから即入院となりませんでした。てっきり病院から厚生センターへ連絡がいくものと思い込んでいましたが、こちらから厚生センターへ連絡して初めて色々な指示を受けることになりました。

当方を含め家族3人が濃厚接触者として、19日にPCR検査を受けることになり、20日の昼頃3人とも陰性が判りました。しかし、1週間は自宅待機とし毎日体温や体調の報告が義務付けられました。体調に変化がなく、23日に自宅待機が解けました。

母が陽性と判るまで介護はノーマスクでしたし、通院時はマスクを付けていましたが車の中でそれこそ濃厚接触状態でした。ですから、陽性を覚悟しておりました。

陽性と判ってからのは、マスクにフェースガード、ゴム手袋の完全防備で介護しておりました。感染を拡げないために、介護は当方の役目となりました。

思い起こすと、ノーマスクでの介護でしたが、あまり話をしなかったことと短時間だったのが幸いしたと考えます。厚生センターも、濃厚接触者の判断はノーマスクで15分以上の接触があれば該当する、としている様です。

ワクチン接種が順調に進み、感染しても軽症か無症状の場合が多いことが災いし、思わぬ感染拡大に繋がっているようですが、いかなる時も隣の人が陽性者の可能性があることを忘れてはいけなくと身を持って感じた次第であります。皆さんも十分に注意して、日々を過ごしていただきたいと思います。